

令和7年8月14日(木)付け南日本新聞 11面に体験入学の記事が掲載されましたので、紹介します。

薩摩中央高 農業に興味 県外からも

体験入学で魅力発信



旬のナシを収穫する県外の中学生
＝さつま町虎居

さつま町虎居の薩摩中央高校で、中学3年生を対象にした一日体験入学があった。全国から生徒を募集する「地域みらい留学」で、同校進学を検討する県外の2人も参加。ナシの収穫などに挑戦しながら学校の魅力に触れた。

同校は本年度から地域みらい留学の受け入れ校になり、現在来年度の生徒を募集している。留学期間は3年間。

5日の体験入学には町内外から70人が参加。福祉や生物生産など

4学科の授業を選んで体験した。県外の2人は興味がある農業分野を選択。校内の農園で栽培されるナシの採り方を教わり、傷めないようにもいで試食した。草花の授業ではコケ玉作りを楽しんだ。

果樹作りを学びたいという大阪市の今市中学校3年、小川和真さんは「初めての鹿児島。人が温かくて学校の雰囲気もいい。ぜひ留学したくなった」と話した。

(山田天真)